事例No.	2016
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都杉並区

事例区分	DX

タグ	・観光 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

紙とデジタル両方の商品券を発行し住民が選べる仕組みの構築

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

36 紙とデジタル両方の商品券を発行し住民が選べる仕組みの構築【東京都杉並区】

事業の概要

○ 杉並区は、コロナ禍の影響を受けている区民の生活と区内商店等を幅広く支える取組として、プレミアム付商品券を発行した。紙の商品券とデジタル商品券の両方を同時期に発行することで、利用者自身が希望する商品券を選択できる仕組みとした。※現在は期間終了しています。

○ 商品券をデジタル化することによって、購入時の混雑緩和、申込受付事務の軽減、地域におけるキャッシュレス化の推進などの効果がある。

○ デジタル商品券の使用方法を分かりやすく案内するため、HP上にデジタル商品券に関するログイン方法や実際の店舗での使用方法などを動画にして公開した。



チラシ

【参考情報①】 人口：57.4万人
関連URL： ー

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



コロナ禍における区民生活と区内商店等を幅広く支援することを目的として、プレミアム付商品券事業を実施しました。

新しい生活様式への対応として採用した２次元コード方式のデジタル商品券とともに、デジタル弱者に配慮して紙商品券を発行することで、より幅広い世代への支援につながりました。

（杉並区）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



東京都の生活応援事業補助金及び内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しました。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



デジタル商品券の利用に当たっては、スマートフォンの操作方法などに関する問い合わせが多かったことから、電話だけではなく、対面での相談窓口の設置など、デジタル弱者にも配慮したきめ細やかな対応が必要であると感じました。

★担当：杉並区 産業振興センター★

令和3年度事業費　350,303千円
（うち、東京都生活応援事業補助金（東京都）　145,490千円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　204,813千円）